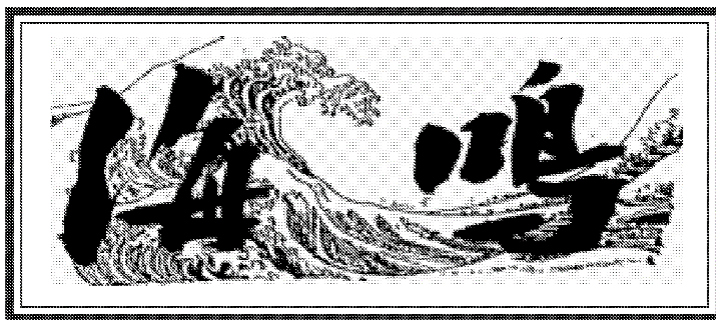


2025 年
11 月 25 日
第 243 号

新執行委員会発足
2024 年度活動報告



新潟大学職員組合
教育学部分会発行

新潟市西区
五十嵐 2 の町 8050
新潟大学教育学部内

委員長挨拶

学長選考について 思うこと

岡野 勉（学校教育学）

2024 年度の活動が終了し、新たに2025 年度を迎えることとなりました。このたび、執行委員長に選出されました。1 年間、どうぞよろしくおねがいします。

9 月に発表された学長選考・監察会議による学長選考の結果は、多くの教職員にとって大きな驚きを持って受け止められたことと思います。何と言っても、学内教職員による意向投票の結果、400 票以上の差を付けられ、ダブルスコアで第2 位となった候補適任者が候補者として選出されたわけですから、全国的に見ても、このような選考は極めて異例な、しかも最初の事例ではないかと思われまふ。学長選考・監察会議は、意向投票の結果をどのように受け止め、検討したのか、具体的な説明を求める教授会決議が、教育学部だけでなく、人文学部、工学部、農学部において採択されたのは当然の動向です。

国立大学が法人化された（2004 年）後、多くの大学において学長選考制度が変更され、選考の過程に学外委員の意向を位置付ける形に変更されました。文部科

学省は「過度に学内の意見に偏るような選考方法は不適切」であるとして従来の方法を批判しています（2014 年）。しかしながら、今回の選考が、逆に、「過度に学外の意見に偏るような選考」であったとすれば、それが「不適切」であることもまた確かでしょう。

大学のリーダーである学長を、なぜ、大学の構成員が選出していないのか——私たちは、現在のこの素朴な問題意識に立ち返ることが求められていると思います。自分たちのことは自分たちで決める——こんなあたりまえのことが許されないとすれば、大学が社会から期待されている役割を果たすことは不可能になるでしょう。今後、学長選考・監察会議がどのような説明を行うのか、重大な関心と共に注視する必要があります。

最後になりましたが、この度、選出された次期役員は次の通りです（敬称略）。1 年間、どうぞよろしくおねがいします。

2025 年度執行委員会

委員長：岡野 勉（学校教育学）

機関紙『海鳴』編集兼任

書記長：志賀 隆（理科教育）

執行委員（会計）：小林繁子

（社会科教育）

選挙管理：平賀保博（技術部）

会計監査：中西裕也（理科教育）

2024 年度の 活動報告

はじめに

2024 年度の執行部は、11 月8 日に引き継ぎを完了し、同日に第1 回分会執行委員会を開催し、活動を開始しました。委員会の構成は次の通りです（敬称略）。

委員長：岡野 勉（学校教育学）

書記長：小林繁子（社会科教育）

執行委員（『海鳴』編集担当）：金子岳史（技術教育）

執行委員（会計担当）：塩原佳典（学校教育学）

選挙管理：五十嵐智志（理科教育）

中西 裕也（理科教育）

会計監査：角谷 聡（国語教育）

なお、塩原委員が2025 年3 月に退職されましたが、補充選挙は行わず、役割分担を一部変更するに止めました。

定期総会の開催

12 月26 日に開催された定期総会では、活動方針、予算などを決定しました。組合員数37 名中、会場出席者9 名、オンライン出席者4 名、委任状出席者14 名、合計27 名の出席により総会は成立し、2024 年度の運動方針は賛成多数によって承認されました。総会では、特にスイングバ

イ人事、他学部向け教職課程の担当に関する問題等も踏まえた教育学部の役割と教員配置の問題を中心に、今後の大学・教育学部の在り方に関して、活発な意見交換がなされました。

教員配置・昇格問題

への取り組み

『海鳴』は第231 号から第242 号まで、総計12 号、発行しました。特に繰り返し取り上げたのは、12 月20 日の教育研究評議会において承認された「教員人事ポイント制の暫定措置」問題です。

「2025 年度以降、3 年間、学系配分ポイント（2025 年度においては半分、2026～2027 年度においては全部）を学長裁量ポイントとし、学長の裁量によって配分する」という暫定措置に関する問題点を指摘しました（第229 号）。教育学部のスイングバイ人事が選考委員会の審査を経た後に学長面接後に採用不可になる等、専門性を無視した教員選考の問題点についても指摘しました（第234 号）。

新大職組主催「教員人事ポイント制に関する意見交換会」（2025 年1 月）では、学系教授会議を通過して開始された教員公募が理事の要請によって中止に至

るという前例のない事例について報告しました（第235号）。

暫定措置による教育学部の教員配置への影響が甚大であることを鑑み、3月に学系長に補償措置を要求し（第236号）、5月には学系長・事務部長と意見交換を行いました（第239号）。3月に実施された学長交渉に出席し意見を述べると同時に、説明会の開催を要求しました（第238号）。

6月に実施した「よりよい職場づくりのためのアンケート調査」でも、この暫定措置に関して大学執行部による説明が必要とする声が確認できました（第242号）。なお、このアンケートは、全国大学高専教職員組合の「全大教新聞」（第437号、11月10日）にも紹介されました。

教員の昇格問題については、全教員を対象とするアンケート調査の結果をベースとして作成した要求書「教育学部教員の昇格について」を学部長、学系長に提出し、速やかな昇格の実現に向けた取り組みを要求しました（第234号）。

社会への訴え

教育学部と教員養成が直面している喫緊の問題を社会へ訴えるべく、2025年2月、新潟日報記者との懇談会を行いました。

学校教員の不足が深刻化していることは広く社会問題として共有されていますが、教員の質低下を招きうる問題、つまり教育学部における教員不足と教員養成の弱体化という問題はまだまだ認知されていません。教育学部の教員配置問題を社会的課題として取り上げてもらうよう働きかけました。4名の記者の方からは高い関心が示されました（第236号）。

建物「改修」問題への取り組み

8月には、人文自然棟（D棟）東側の改修工事が完了後、退避先からの移転直前になって、部屋の実寸法が想定より小さく、空調設備によって什器が収容できない等の問題が浮上しました（第241号）。さらに、改修の終わった講義棟（B棟）についてもアンケート調査を実施する（第241号）など、組合員からの情報収集と問題提起に努めました。

おわりに

9月18日に役員選挙が公示され、投票を経て、9月28日に次期役員が選出されました。2025年度に円滑に引き継ぎできたことは、新役員の方々および組合員各位のご理解とご協力の賜です。また、『海鳴』に貴重なご意見を投稿して頂いた組合員の皆様にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

最後に、引き続き、新潟大学および教育学部の様相に注視し、同じ職場で働く者の視点での活動に尽力いただけますと幸いです。

活動日誌

2024年11月

6日（水）分会代表者会議
8日（金）引継ぎ、第1回執行委員会

12日（火）学部長挨拶・懇談
13日（金）第2回執行委員会
20日（水）『海鳴』第231号特集・新執行委員会発足、発行

22日（金）新大職組第92回定期大会に出席

25日（月）学系長に「教育学部教員の昇格について」を提出
27日（水）第3回執行委員会

12月
11日（水）第4回執行委員会
13日（金）新大職組主催「ポイント制問題緊急学習会」に出席

23日（月）学部長に「教育学部教員の昇格について」を提出
26日（木）分会定期総会

2025年1月
15日（水）『海鳴』第232号、特集：私たちをめぐる情勢、発行
23日（木）第5回執行委員会
29日（水）『海鳴』第233号、

特集：定期総会報告、発行

30日（木）『海鳴』第234号、特集：疑問だらけの令和7年度人事、発行

31日（金）新大職組主催「教員ポイント制に関する意見交換会」に出席

2月

5日（水）新潟日報記者との懇談
21日（金）第6回執行委員会、『海鳴』第235号、特集：教員人事ポイント制意見交換会の報告、発行

3月

3日（月）学部長との懇談
17日（月）学系長に、「教員ポイントの配分に関する補償措置を求める要求書」を提出。

21日（金）第7回執行委員会
24日（月）『海鳴』第236号、教員ポイント配分問題・新潟日報との懇談会他、発行

27日（木）学長交渉

4月
10日（木）『海鳴』第237号、新任教員歓迎、新任教員、退職教員の挨拶等、発行

24日（木）新任教員歓迎会（親和会との共催）

25日（金）第8回執行委員会

5月

9日（金）第9回執行委員会
15日（木）教員配置問題に関する学系長との意見交換会
21日（水）第10回執行委員会

6月

4日（水）第11回執行委員会
12日（木）『海鳴』第238号、特集：学長交渉報告、発行

24日（火）新大職組臨時大会、出席

27日（金）『海鳴』第239号、特集：学系長との意見交換会報告、発行

7月

2日（水）第12回執行委員会

8月

5日（火）第13回執行委員会、『海鳴』第240号、特集：これでいいのか建物改修、発行

6日（水）『海鳴』第241号、特集：これでいいのか建物改修（講義棟編）、発行

25日（月）『海鳴』第242号、教員人事ポイント暫定措置に関するアンケート結果、発行

9月

18日（木）～25日（木）役員選挙
（担当：小林繁子・岡野 勉）

お知らせ

定期総会を開催します。
12月26日（金）18時00分
オンラインも併用します。終了後、忘年会も予定しています。多くの組合員のご出席をお願いします。詳細につきましては後日ご連絡します。